

有明町の秋を歩いて発見!

有明フットパス下津浦コースでイベント



▲絶景ポイントで記念撮影

10月13日、有明町下津浦地区でフットパスイベントがあり、6.5kmのコースを地元ガイドとともに28人が散策しました。

見どころの彼岸花ロードは花が終わっていましたが、スタッフ手作りの彼岸花ブローチの贈り物に笑顔を見せた参加者。

途中、同地区の諏訪神社秋季例大祭も見学し、「田園風景に加え祭りも見られて大満足です」と話していました。

決意新たに看護の道へ

本渡看護専門学校戴帽式



▲ろうそくに火を灯す学生

10月12日、本渡看護専門学校で戴帽式があり、4月に入学した1年生37人が式典に臨みました。

家族や在校生が見守る中、一人ひとりにナースキャップが渡され、ろうそくを手に看護の道への誓いを新たにした学生たち。代表して鮑田陽菜さんが、「患者さんの心に寄り添える看護師になります」と宣誓。年明けからの病院実習に向け、今後も勉学に励みます。



各地の話題はホームページのトピックスでチェック!!

故郷に響き渡る天草小唄

第22回横田良一祭



▲総勢100人による天草小唄の大合唱

牛深出身で歌手として活躍しながらも26歳の若さでこの世を去った横田良一氏。彼の功績を讃えしのぶ「横田良一祭」が10月6日、牛深総合センターで開催されました。

日本舞踊や詩吟、代表曲の天草小唄に合わせた踊りなどが披露され、500人の観客は手拍子や口ずさむなどして音楽を楽しみました。中学1年の濱中悠太郎さんは、「牛深から歌手になった人が居るのは誇らしい。自分も詩吟を続けたい」と話していました。

みんなでワイワイ楽しく町おこし

地域おこし協力隊の活動事例



▲倉岳のお土産グッズ作りに励む住民の皆さん

昨年7月から栖本・倉岳地域で活動しています。穏やかな内海の景色と地域の皆さんの優しさに心洗われる毎日です。

倉岳では全国から訪れるWANIMAファンに天草に来た思い出を!との思いから、地域の皆さんと倉岳グッズを制作・販売しています。栖本温泉では、希望する人に整体施術のモニターとなってもらう「0円整体」を企画。

今後も地域にある資源を活用しながら天草の発展に繋がっていきます。



地域おこし協力隊 ありまさ なおき 蟻正 直揮さん

400年の時を越えて響く古楽器のハーモニー

コレジヨの仲間(河浦町) 天草コレジヨ館 ☎76-0388

河浦町の天草コレジヨ館に復元・展示されている西洋古楽器。天正少年遣欧使節団がヨーロッパから持ち帰ったとされている。鑑賞だけでなく音色も楽しんでもほしいと平成20年に代表の松村文美代さんから8人で結成したのが古楽器演奏グループ「コレジヨの仲間」だ。

メンバーはピアノやギター講師など、楽器に精通してはいるものの古楽器の演奏は初めて。兵庫県で古楽器を製作し、メンバーの1人でもある平山照秋さん(てるあき)から指導を受けたり、独学で演奏技術を磨いた。今では、約30曲を演奏する。演奏以上に大変なのは楽器の調律。西洋古楽器はヨーロッパの乾燥した松などを使って作られているため、会場の温度や湿度で演奏中に音程が変わることもある。

大変さを感じながらも、「現代の楽器には出せない音色やハーモニーが何よりの魅力」と笑顔で話すメンバー。崎津集落がある河浦で当時の情景を想像しながら演奏できる喜びも感じている。

演奏時の衣装にもこだわり、当時のヨーロッパの音楽家をイメージして、メンバーの上口浩子さんが手作りした。「天草にはキリスト教文化と密接した素晴らしい音楽の歴史があることも知ってもらいたい」と思いを語る松村さん。7月にはフィリピンで最初の世界文化遺産「聖アグスティン教会」で演奏する予定。



▲上段左から 安尾宣子さん(歌、リコーダー) 木戸博義さん(リュート) 松村文美代さん(ヴァージナル) 吉岡渚さん(リコーダー、歌) 上口浩子さん(ティバー、鈴) 下段左から 山下真奈美さん(ヴィオラ・ダ・ガンバ) 原田綾さん(ゴシックハープ、リコーダー)

▶ヴァージナルには崎津集落が描かれている



▲聖アグスティン教会で演奏(左端が平山さん)



▲演奏はこちら



ユニークな競技に大賑わい! 大宮地地区運動会



▲太公望でも「こら難しか〜!」

秋の運動会シーズン。新和町でも各地で球技大会などが行われ住民同士が交流を深めました。9月29日に実施された2年振りの「大宮地地区運動会」には、子どもからお年寄りまで230人が参加。徒競走や樽回しなどの競技に拍手と笑顔があふれました。

下駄飛ばしで22m飛ばし優勝した30代の上園^{うえの}さんは、「初参加でしたが皆さんの応援が力になりました」と笑顔を見せていました。

働くイメージできたかな? 天草中学校の職場体験



▲公民館事業のチラシを作成する中学生

9月18日から3日間、天草中学校の2年生17人が校区内の9つの事業所で職場体験を行いました。“自ら学び・気づき・考える力を身に付けよう”と毎年実施しているもの。

市役所天草支所でも3人の生徒が、公民館講座のチラシ作成や町の観光PRなどで活用するドローンの操縦、窓口業務などを体験。中学生は、誇りを持って仕事に取り組む重要性を感じていました。

私たちが残したい天草描いたよ 複合施設を彩るアズレージョ制作



▲アズレージョを手に笑顔の中学生

9月6日、河浦中学校の2年生24人が天草陶石のタイル(アズレージョ)に絵付けを行いました。来年4月開館予定の天草市複合施設に市民が描いた「100年後の天草に残したいもの」を設置しようと各地区の公民館事業で実施しているもの。河浦で工房を開いている山田^{なりあき}也有さん夫妻の指導を受けながら描いた生徒は、「崎津の花火を描いたけど濃淡が難しかった」と話していました。

中学校で音楽の授業再び♪ 倉岳中学校・老人会元気講座



▲中学校の音楽室で歌の指導を受ける老人会の皆さん

今年度から公民館の特別講座として始まった「倉岳中学校・老人会元気講座」。中学校の先生が老人会の皆さんに授業を行うもので2回目となる9月30日は、学校の音楽室で池田校長と木下教諭が17人の年上の生徒に歌のレッスン。同校の校歌や童謡「紅葉」など5曲を練習した老人会の皆さんは10月12日、同校の学習発表会で中学生に負けない美しい歌声を披露しました。

オリーブたくさん獲れたよ 五和小学校でオリーブの収穫



▲1粒1粒丁寧に収穫する子どもたち

9月27日、五和小学校の児童300人と職員が敷地内のオリーブを収穫しました。このオリーブの木は開校時に68本植樹されたもので、昨年に続き2度目の収穫。

ビニール袋を手に、1粒1粒丁寧に摘み取った収穫量は41kg。これを搾油してできる4リットルのオリーブオイルは家庭科の授業や給食で使用します。子どもたちは、「どんな味がするか楽しみ」と話していました。

バランスのとれた食事で元気に!! 高齢者学級



▲栄養士の話に熱心に聞き入る参加者

9月13日、栖本町の村地区自治公民館で高齢者学級があり、住民20人が参加しました。同地区老人会が主催したもので、食が細くなりがちな高齢者に、市の松下栄養士が講師となって出前講座を実施。肉や魚の模型を見せながら1日に必要なエネルギー量や小道具を使っての分かりやすい講座に、「バランスよく食べて100歳ば目指さんば!」と張り切っていました。

学校に響くプロの音色 芸術ふれあい出前コンサート



▲直近でのプロの演奏に興味津々の子どもたち

本物の音楽に触れ、感性を高めてもらおうと市内の8つの小中学校で「芸術ふれあい出前コンサート」が開かれました。市が8年前から実施しているもので、10月4日には五和町出身のピアニスト鳥羽瀬宗一郎さんがバイオリニストの上里はな子さんと本渡東小学校を訪問。“情熱大陸”など6曲を披露し、子どもたちからの「バイオリンの中はどうなっているの」「値段は」といった質問に答えるなどして交流を深めました。

速く走れるようになろう! 御所浦地区公民館講座



▲地面からの反発を利用して前に進む練習

9月12日、御所浦地区公民館講座「陸上salon～速く走れるようになろう～」が御所浦小学校であり、5・6年生と教員33人が参加しました。講師は市内で陸上サロンなど体を動かす講座などを主催している岡田^{おか}聖史さん。陸上記録会に向けて理想的な走り方を身につけてもらおうと、イラストを使って理論を学んだ後は運動場に出て実践。走りのコツを掴んだ児童は、「本番で発揮できるようがんばりたい」と意気込んでいました。